

教科	商業	科目	課題研究	年次	2～4	単位数	2
使用教科書 (副教材など)		最新段階簿記検定問題集 全商3級 (実教出版)					

学習目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、企業において情報を適切に扱うために必要な資質・能力を育成することを目指します。 (1) 取引を記帳する基礎を身につけ、報告書を作成する技術を身につけるようにする。 (2) 企業における取引を、ルールによって判断し、表現する考え方を身につけるようにする。 (3) 簿記の目的を理解し、主体的に学習することで簿記を理解しようとする力を身につける。	
評価の観点	① 知識・技術	企業における取引を、帳簿に記録・計算・整理する技術の基礎を身につけ、簿記の学習に、自分から進んで取り組むことができるように、基礎的な知識を身に付けている。
	② 思考・判断・表現	企業における取引を、簿記特有のルールから考え、基礎的・基本的な知識を活用して適切に判断する力を身に付けている。
	③ 主体的に学習に取り組む態度	簿記の意味、簿記の目的、簿記の種類、簿記の歴史について自ら意欲的に取り組みを理解しようとする力を身に付けている。
評価の方法	定期考査の点数を中心に「知識・技術」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で総合的に評価します。	

	単元	学習内容
前期	第1章 簿記の基礎 第2章 資産・負債・純資産と貸借対照表 第3章 収益・費用と損益計算書 第4章 取引と勘定 第5章 仕訳と転記 第6章 仕訳帳と総勘定元帳 第7章 試算表	・簿記の意味・目的を明らかにして、記帳の重要性を理解します。 ・資産・負債・純資産（資本）の意味を明らかにし、貸借対照表の意味・形式などを理解し、その作り方に習熟します。 ・収益・費用の意味を明らかにし、純損益を計算する方法（財産法・損益法）を理解します。 ・損益計算書の意味・形式などを明らかにし、その作り方に習熟します。 ・貸借平均の原理を理解します。 ・仕訳の意味を明らかにし、各種の取引の仕訳に習熟します。 ・総勘定元帳の意味を明らかにし、仕訳帳からの転記の仕方に習熟します。 ・試算表の役割・種類それぞれの特徴などを明らかにし、その作り方に習熟します。
	第8章 精算表 第9章 決算 第10章 現金・預金などの取引 第11章 商品売買の取引 第12章 掛け取引 第13章 手形の取引 第14章 その他の債権・債務の取引	・精算表の役割を明らかにして、その作り方に習熟します。 ・決算手続き全体の流れを理解し、記帳に習熟します。（英米式決算法） ・当座預金勘定の記帳と当座預金出納帳の記帳について理解します。 ・小口現金のシステムを理解させ、その記帳方法と記帳に習熟します。 ・仕入帳・売上帳・商品有高帳の記帳の方法に習熟します。 ・掛け取引を理解し、売掛金勘定と買掛金勘定の記帳を理解します。 ・約束手形の記帳方法を理解させ、各種取引の記帳方法について習熟します。 ・売掛金・買掛金・受取手形・支払手形以外の各種の債権・債務について、その記帳方法や違いなどを理解します。
後期	第15章 固定資産の取引 第16章 個人企業の資本の取引 第17章 販売費と一般管理費、税金の取引 第18章 決算整理(その1) 第19章 8桁精算表 第20章 帳簿決算 第21章 会計帳簿	・固定資産の意味を考え、固定資産に関する記帳方法を理解します。 ・個人企業における資本の元入れ、引き出しなどの記帳方法を理解します。 ・所得税と住民税の納付は資本の引き出しにあたることを説明し、その記帳方法を理解します。 ・決算整理の意味とその必要性を理解します。 ・分法による決算整理事項の処理法を理解し、その記帳に習熟します。 ・8桁精算表の意味を明らかにし、その作成に習熟します。 ・帳簿決算の意味とその必要性を理解します。 ・総勘定元帳の締め切りと、繰越試算表・貸借対照表・損益計算書を作成します。
	第22章 伝票の利用 第23章 会計ソフトウェアの活用 第24章 特殊な手形の取引 第25章 有価証券の取引 第26章 本支店会計 第27章 決算整理(その2)	・3伝票を用いた場合の起票や集計方法のルールを理解し習熟します。 ・取引の記帳に会計ソフトウェアを活用することの利点を理解します。 ・手形の裏書譲渡・割引・書き換え・不渡りの意味を明らかにし、その記帳方法を理解します。 ・有価証券の意味と買い入れ、売却したときの記帳方法を理解します。 ・支店会計が独立している場合の本支店間の取引、支店相互間の取引の記帳方法を理解します。 ・本支店合併の損益計算書・貸借対照表の作り方を理解し、その作成に習熟します。